令和6年度 第3回 浜松市立伊目小学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月16日(水) 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 伊目小学校 会議室
- 3 出席委員 白柳和義、加茂俊武、影山純市、中村智美、白柳雅臣
影山陽一、影山卓也、加茂哲治、長谷川郁展、久保直人
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー なし
- 6 学校支援コーディネーター 太田かおり
- 7 学 校 吉川麻利子(校長)、伊藤省吾(教頭)、野末敏宏(教務)
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 伊藤省吾(教頭)
- 10 議長の選出及び前回会議録確認
前回議事録について手元資料を参照し、伊藤教頭より口頭で説明があり全員これを確認し、承認をした。
- 11 協議事項
 - (1) 学校評価について
 - (2) 11/9(土)生き生き学校(ウォークラリー)について
 - (3) 伊目大運動会の反省について
 - (4) その他
- 12 会議記録
伊藤教頭から委員総数10名全員の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。また、議長については学校運営協議会会長より久保委員に一任する発言があり、全員これを承認した。
- 13 熟議
 - (1) 学校評価及び授業参観について
野末教務主任より学校評価アンケート結果に基づく考察の説明があった。その中で、以下の3点にしばって熟議を進めた
 - ①【子供の意欲、やる気を高めるための手立て】
今の子供は、学校以外でもやる事が多くて忙しい。その中でも伊目小の子供たちはよくやっていると思う。先生方も授業でタブレットを用いたりALTを活用したりして子供の意欲を高めていることがうかがえる。学級の温かなよい雰囲気づくりが大事になる。子供の実態に即して無理はしない方がいいのではないか。
読書については日課に位置づけられているが、読書を通して想像力を育てていくよう、子供たちに働き掛けていけるとよい。(加茂俊武委員)
 - ②【挨拶いっぱいの子への手立て】
挨拶はまず家庭から始めていくものだと思う。その上で大人から声を掛けていく必要がある。伊目小の子供たちも昨年度よりは挨拶するときの声が大きくなったが、もう少し元気よい挨拶ができるといい。しかし、知らない人には挨拶(声掛け)しないように指導された時期もあり、コロナの影響もあったと思うので、少しずつ挨拶の気運が上がればよいと思う。(影山陽一、純市委員、加茂哲治委員)

③【いじめについて】

10%の児童が、あると答えている。先生方にはこのことを認識した上で子供たちに声掛けをしたり見守ったりして、子供たちが楽しい学校生活を送れるよう配慮してほしい（白柳会長）。

(2)11/9(土)生き生き学校(ウォークラリー)について

手元資料を参考に野末教務主任より説明があった。アトラクションの内容、得点の確認などについて質問が出されたため、協議した。改善点を改めて提案し得点のあり方について共有することで、これらの提案について全員異議なく承認した。

(3)伊目大運動会の反省について

野末教務主任よりアンケート集計結果の説明があり、全体的に肯定的な意見が多かったとの報告があった。委員からは以下の意見があがった。

- ・玉入れ競技（自治会種目）は、来年度も継続したい。今年度は子供も入って盛り上がり、大人と子供との交流が深まったと思われる。第1戦と第2戦のメンバーを変えればみんな参加できると思うので、ルールの変更を含めて地域とも検討していきたい。（白柳会長）
- ・コロナ以前は、運動場の横（上り棒付近やサッカーゴールの手前あたり）まで保護者席が用意されていた。来年度以降は観覧席を広げていいと思う。（加茂俊武委員）
- ・競技中に靴がぬげたり転んだりすることがあったので、先生方には即対応できるようにお願いしたい。（久保委員）

(4) その他

野末教務主任より学習ボランティアのお願いと報告があった。

14 連絡事項

伊藤教頭より昨年度同様に持久走記録会を開催することやお正月に向けての門松作りを進めることについての連絡があった。

伊藤教頭から、次回会議は令和7年2月6日（木）13時30分～15時30分に会議室で開催する旨の連絡があった。